

日田市議会議員の定数削減に関する陳情

陳情の要旨

日田市議会におかれましては、来春に実施されます統一地方選挙を前に、市議会議員の定数問題について議員定数等調査特別委員会を立ち上げ、市民懇談会を開催するなど、本格的な議論が行われていることに敬意を表します。

市議会議員の定数の問題につきましては、当連合会でも、これまで、平成18年6月12日に意見書、平成18年10月19日並びに平成25年11月27日に要望書を当時の市議会議長に提出するなど、市議会の活動につきましては、常に関心を持ち、理事会等でも議題として取り上げ、これまでも活発な議論を展開してきたところでございます。

さて、「広報ひた 2025年2月号」に掲載されました令和7年度から11年度に係る5カ年の「日田市の財政推計（普通会計）」によりますと、11年度には市税や地方交付税などの歳入の総額が363.2億円、歳出では人件費を横ばいとし、投資的経費を34.4億円の減少を見込むなど、歳出総額が372.7億円となり、歳出が歳入を上回り、その財源不足を基金等で賄うとしています。

財源不足時の穴埋め、災害、緊急に必要な公共事業、財産取得及び地方債の繰り上げ等に充てられる財政調整基金などの基金の残高については、令和7年度に158.7億円あったものが、令和11年度では102.7億円になり、56億円減少する見通しとされるなど、現状のままでは、基金がなくなり柔軟な財政運営ができなくなることが懸念されます。

また、人件費などの経常費の割合を示した経常収支比率は、95.3%から98.2%になるなど、100%が目前に迫り、自治体が自由に使えるお金も底をつき、独自の施策ができないような状況になるのではないかと心配です。

日田市の財政推計は人口が減少することを想定して策定されているでしょうが、人口については、令和2年10月1日現在の国勢調査の総人口は62,657人で、平成27年国勢調査の66,523人と比べ3,866人、率にして5.81%減少しています。昨年、令和7年10月1日現在の国勢調査の速報値は、今年の5月に発表されると伺っておりますが、昨年3月末の住民基本台帳の人口が、59,668人となり、ついに6万人を切る数値となっていることを考えますと、前回調査時と同様に3千人程度は減少するのではと危惧しております。

そのような状況下で、企業誘致等の明るい話題もなく、先行き、人口や市税が増加する見込みがなく、物価高で各種の経費の増加が見込まれる中で、財政当局が示しているように既存事業の廃止や縮小を含めた歳出の見直しを一層徹底し、持続可能な財政運営に努めなくて

はならないのではないのでしょうか。

財政推計では人件費を横ばいとしていますが、物価高に人件費の上昇が追いついていないと言われている現状では、今後、さらに人件費も上昇するのではないのでしょうか。

現在の日田市議会議員定数は22名、報酬は議長が月額44万7千円、副議長39万3千円、議員38万2千円、これに期末手当が6月と12月に、それぞれ月額報酬の160%と165%で、額にして議員で概ね61万1千円と63万になります(出典 全国市議会議長会 市議会議員報酬に関する調査結果、令和6年12月31日現在)。また、政務活動費としては、一議員年額24万円となっているようです。

人口減少等により、さらに財政状況が厳しくなる中、経常収支比率が100%を超えるような危機的状況となる前に市議会議員の定数を最小限にするよう市議会議員の皆様のご英断を求めるものでございます。真っ先に議員定数を大幅に削減し、議会から模範を示し、執行部を正していただきたく陳情書を提出するものでございます。

最小限の議員定数で、責任感を持って「働いて、働いて、働いて」、議員報酬に見合った働きをしていただきたいと願っています。

日田市議会には常任委員会と言われる委員会は、総務環境委員会、教育福祉委員会及び産業建設委員会の3つがあり、現在は、それぞれの委員会に議員7名となっていますが、これを5名にし、全議員数を少数精鋭の16名としても、議会・議員の役割である「議事機関としての役割」、「住民の代表機関としての役割」、「立法機関としての役割」及び「監視機関としての役割」を果たすことは可能ではないのでしょうか。

全国市議会議長会による「市議会議員定数に関する調査結果【別表】」によりますと、人口が5万人以上8万人未満で議員定数16名以下の市は、石川県野々市市(ののいちし)、埼玉県羽生市(はにゅうし)、志木市(しきし)、日高市(ひだかし)、岐阜県美濃加茂市(みのかもし)、大阪府泉大津市(いずみおおつし)、柏原市(かしわらし)、高石市(たかいしし)、藤井寺市(ふじいでらし)、泉南市(せんなんし)、四条畷市(しじょうなわてし)、交野市(かたのし)、大阪狭山市(おおさかさやまし)、阪南市(はんなんし)、奈良県天理市(てんりし)、桜井市(さくらいし)、香芝市(かしばし)、和歌山県岩出市(いわでし)、兵庫県三木市(みきし)などがあります。行政面積の大小はあるでしょうが、議員16名でやっている市が現存しています。

日田市の行政面積は666.03平方キロメートルと広大ではありますが、山林と農地が80%以上を占めています。

議員定数を22名から16名に減員することで、令和7年度の一般会計予算の議員報酬、議員手当、議員共済費、政務活動費交付金を単純に議員定数で割り戻した額が概ね一人当た

り7,632千円になりますので、年額4千5百万円が投資的経費に回せる計算になります。
10年間で4億5千万円です。

以上の理由から下記の項目について陳情いたします。

記

1. 日田市議会議員の定数を次期市議会議員選挙までに、現在の22名から6名削減し、16名とすること。

令和8年2月16日

日田市議会議長 三苫 誠 様

陳情者 日田市田島2丁目6番1号
日田市自治会連合会 会長

井上 營吉

